

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱電機株式会社 名古屋製作所 尾張旭地区新拠点生産棟(仮称)	階数	地下0階地上4階
建設地	愛知県尾張旭市稲葉町五丁目1番1号(ほか60筆)	構造	S造
用途地域	都市計画区域内 市街化調整区域	平均居住人員	600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年2月17日
敷地面積	43,319 m ²	作成者	株式会社大林組 陳 遜
建築面積	12,950 m ²	確認日	2023年3月2日
延床面積	37,104 m ²	確認者	株式会社大林組 陳 遜



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)												
<p>BEE = 3.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>92 (kg-CO₂/年・m²)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>46</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td></td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td></td> <td>80%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	92 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%	②建築物の取組み	46	80%	③上記+②以外の		80%	④上記+		80%	
①参照値	92 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%												
②建築物の取組み	46	80%												
③上記+②以外の		80%												
④上記+		80%												

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮 3.8</p>	<p>③敷地内の緑化 4.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 29.6 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用 3.6</p>	<p>④地域材の活用 1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 三菱電機株式会社 名古屋製作所 尾張旭地区新拠点生産棟(仮称)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:
 ■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
	重点項目								建物全体・共用部分	建物全体・共用部分
Q 建築物の環境品質									3.5	
Q1 室内環境									-	
1 音環境									-	
1.1 室内騒音レベル		3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 遮音		-	-	-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音		-	-	-	-	-	-	-		
2 温熱環境									-	
2.1 室温制御		-	-	-	-	-	-	-		
1 室温		3.0	-	-	-	3.0	-	-		
2 外皮性能		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	-	-	-	-	-	-		
2.3 空調方式		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 光・視環境									-	
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-	-	-		
1 昼光率		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備		3.0	-	-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御		5.0	-	-	-	-	-	-		
3.3 照度		3.0	-	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御		3.0	-	-	-	-	-	-		
4 空気質環境									-	
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質		3.0	-	-	-	-	-	-		
4.2 換気		-	-	-	-	-	-	-		
1 換気量		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	-	-	-	-	-	-		
4.3 運用管理		-	-	-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能									3.5	
1 機能性									-	
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 パリアフリー計画	独自	3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 内装計画		3.0	-	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理		-	-	-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性									3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.5	3.2	0.52	-	-	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.6	0.33	-	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.23	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	-	4.0	0.23	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	4.0	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	5.0	0.15	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-		
2.4 信頼性		0.1	3.4	0.19	-	-	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	4.0	0.20	-	-	-	-		
3 電気設備		3.0	4.0	0.20	-	-	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		

3 対応性・更新性				0.4	3.7	0.48	-	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり		②	階高 3.9m以上 壁長さ比率 2階全体 0.06	0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり			-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	3.0	0.17	-	-	-			
3	電気配線の更新性	3.0	5.0	0.11	-	-	-			
4	通信配線の更新性	3.0	5.0	0.11	-	-	-			
5	設備機器の更新性	3.0	3.0	0.22	-	-	-			
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22	-	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.57	-	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出		独自③	評価する取組みが10ポイント	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	評価する取組みが4ポイント	-	4.0	0.40	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	4.2
LR1 エネルギー						0.40	-	-	-	4.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの効率化			BEI=0.6	3.0	5.0	0.63	-	-	-	5.0
4 効率的運用				0.2	5.0	0.25	-	-	-	5.0
集合住宅以外の評価				1.0	5.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		主要な設備システムの効率を評価可能	3.0	5.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		コミッションング実施を計画	3.0	5.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30	-	-	-	4.0
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓、節水便器	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	4.2	0.63	-	-	-	4.2
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	電炉材鉄骨	-	5.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	再生クラッシュラン・ビニル床シート・ロックウール化粧吸音板	3.0	5.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	配管・配線の打ち込み無し、LGS下地	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	4.0	0.22	-	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			ビニルクロス用接着剤に有害物質を含まない材料を使用	3.0	4.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		吹付け硬質ウレタンフォームA種1H	-	5.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境						0.30	-	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率80%	-	3.8	0.33	-	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				0.3	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			燃焼機器は無し	-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	評価する取組みが4ポイント	-	5.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		評価する取組みが5ポイント	-	4.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
2	振動	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	1.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を採用していない	-	5.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

三菱電機株式会社 名古屋製作所 尾張旭地区新拠点生産棟(仮称)

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10
② 資源の有効活用			3.6
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.22
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	4.2	0.19
③ 敷地内の緑化			4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.17
			外構緑化:29.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 三菱電機株式会社 名古屋製作所 尾張旭地区新拠点生産棟(仮称)

計画上の配慮事項	
総合	高効率設備の採用と、空間の可変性を備えた、環境性に優れた建物としている。
Q1 室内環境	十分な開口を設け、昼光率を確保するなど、室内環境に配慮している。
Q2 サービス性能	維持管理に配慮した設計、階高の確保等により建物の機能性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	十分な緑化面積を確保し、暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に努めた。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル建材を導入し、省資源に取り組んでいる。
LR3 敷地外環境	駐車場、駐輪場を確保し、地域の交通負荷抑制に配慮している。
その他	特になし